

市議会だより

日本共産党市議団の 9月議会一般質問

日本共産党市議団は、9月議会で、全員が市の「ごみ減量」の実態と今後の対策について一般質問。

9月1日(木)渡辺忠広議員は、事業系廃棄物の減量対策を質問。本は8年前に事業系一般廃棄物の減量に関する計画書作成を定めながら、事業所に対して何も働きかけをしてこなかったことがわかりました。

12日(金)森下さち子議員は、ごみ減量の取り組みが進んでいる市のように、まず、ごみ内容物の調査(組成分析)を行い公表すること、市民・事業者・行政が一体となりごみ減量に取り組むごみ半減宣言をすることを提案しました。

16日(火)南畑さち代議員は、家庭系ごみ減量施策の推進、特に生ごみの堆肥

化を進めることなどを提案しました。

17日(水)大畑主馬議員は、現在市が実施している7分別をさらに拡大するこトや、長野市や海田市で進められている自治会や婦人会などの住民団体が行う資源の集団回収に対する補助金心の取り組みを提案しました。

日本共産党市議団は、ごみ減量一環し、県内外の先進地から学んでいます。

こどもたちは 日本共産党 です



麻生内閣の発足早々、閣僚が辞任しました。中山成彬^{なりひろ}国土交通相です。

中山氏は、成田空港の新滑走路建設に反対した住民を「ごね得」と批判

したり、教職員の労働組合の解体を公言するなど、相次ぐ暴言にはあきれるしかありません。人権と民主主義を理解しない政治家を閣僚に起用した麻生首相の任命責任も重大です。

首相自身も「持論」をのべています。国連総会に出かけた際、記者の質問に対し、集团的自衛権を行使で

まると憲法解釈を変更すべきだとのべたのです。米軍に攻撃があった場合、参戦できるようにしたいという事です。戦争好きの政治家は、首相には不適格です。



和歌浦でハンドマイク宣伝



和歌浦後援会のみなさんと私ひめた

9月25日(木)午前中、和歌浦後援会のハンドマイク宣伝に、私、ひめたも参加。ゴトウ前から始め、辻々で演説しました。後援会のみなさんは、道行く人々や家々に、ビラを配り、話をしました。何人かの方から「がんばって」と声援ありました。

税金使いの巨額のテレビCM

自民党と民主党が税金にやるテレビCMのたれ流しを始めました。両党とも「税金のムダ使い一掃」と叫びながらも、お手盛りの政党助成金を減らすつもりはサラサラありません。

自民党の宣伝事業費の99.6%、民主党の宣伝事業費の98.5%が政党助成金です。民主党は09年だけでテレビCMに政党助成金から55億5千万円支出しました。(政治資金報告より)

巨額の資金を必用とする商業広告とは、影響力が大きい半面、資金力の有無がものをいうことから、イギリス、イタリア、フランスでは有料放送での政治広告は禁止されています。

日本共産党は年間320億円の政党助成金の廃止を求め、1円も受け取っていません。日本共産党発行のパンフ、ビラなど宣伝物は党内外からの募金(個人献金)でまわっています。